

From Bach to Electronic Music, and into the Medium

交差するBachと
音の建築彫刻
アンビエント

津村 禮次郎 (能楽師シテ方観世流)

畠中 秀幸 (フルート奏者・建築家)

大黒 淳一 (作曲家・サウンドメディアアーティスト)

小川 紗綾佳 (作曲家・ピアニスト・打楽器・シンガー)

有馬 圭亮 (作曲家・ピアニスト)

端 聡 (美術家・アートディレクター)

2025年12月20日(土) 開演 18:00 (開場 17:30)

12月21日(日) 開演 15:00 (開場 14:30)

チケット：各公演 4,000 円 (税込)

会場：SCARTSコート(札幌市民交流プラザ1階)

札幌市中央区北1条西1丁目

総合舞台

音の建築彫刻

- 交差する Bach と アンビエント -

日時：2025年12月20日(土)18:00(開場17:30)

12月21日(日)15:00(開場14:30)

会場：SCARTSコート(札幌市民交流プラザ1階)

札幌市中央区北1条西1丁目

アクセス：札幌市営地下鉄東西線、南北線、東豊線
「大通」駅30番出口から西2丁目地下歩道より直結

音楽、建築、能、映像、美術をシンクロさせる創造性が
12月、SCARTSコートで表現される。音の周波数を変化させることで
音楽が成立していることから音楽とは音の波による彫刻、あるいは限られた
空間範囲で反射された音による建築と言い換えてもいいのかもしれない。
それを共通認識とし、音の建築、音の彫刻、音の舞台という新たな表現方法を
求める6人が集結。テンポラリーな創造ユニットを組み、プリミティブな
音楽からクラシック音楽、そして現代のフィールドレコーディング、
サンプリングサウンド、アンビエントミュージック、ノイズミュージック等を
映像と身体表現とで交差させる。



チケット：各公演4,000円(税込)

道新プレイガイドオンラインストアにて販売
QRコードより「音の建築彫刻」で検索ください

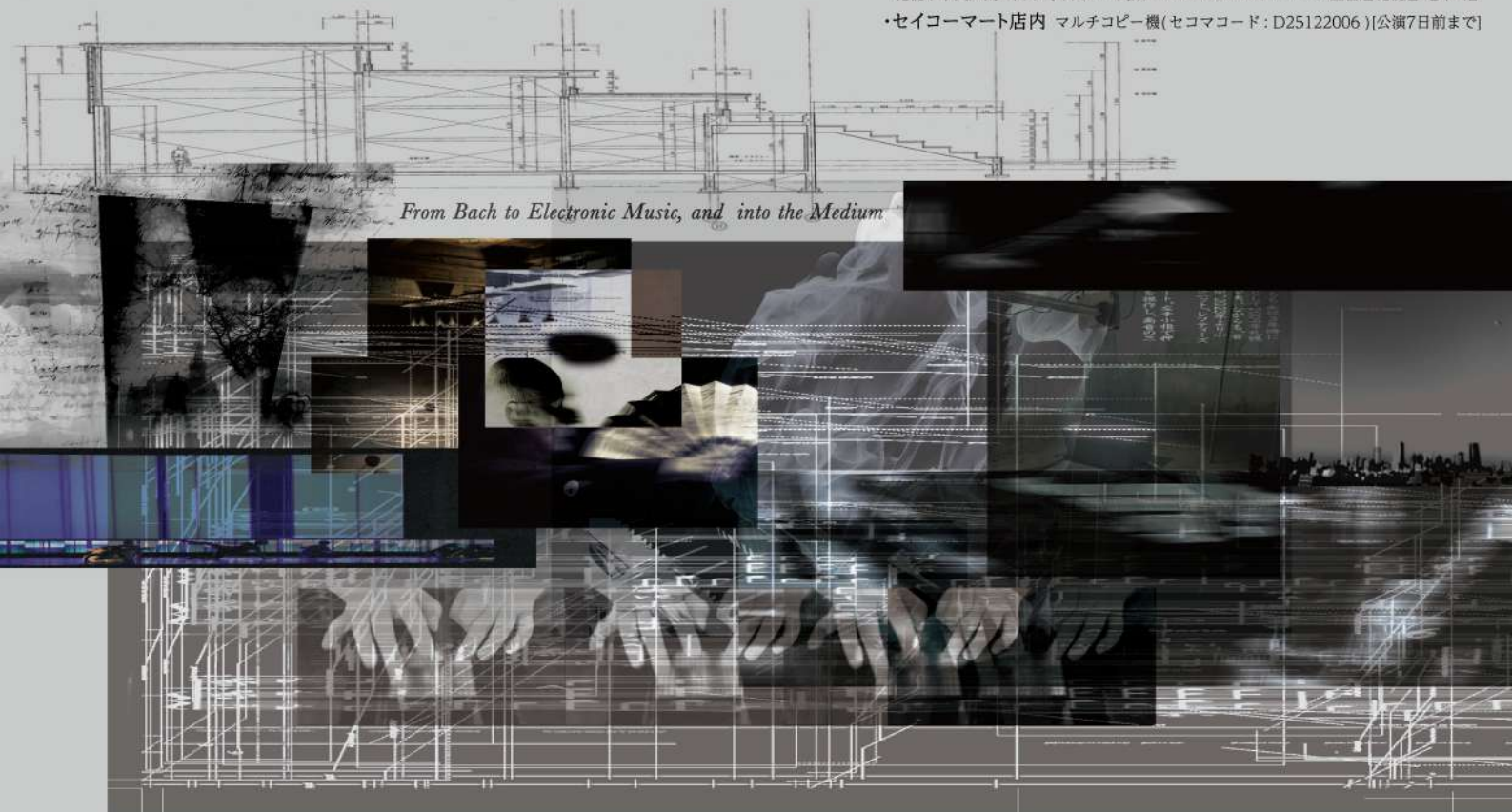
チケット販売

・札幌市民交流プラザチケットセンター
札幌市中央区北1条西1丁目札幌市民交流プラザ2階

・道新プレイガイド

札幌市中央区南1条西1丁目8-2 高桑ビルMARUZEN&ジュンク堂書店札幌店 地下1階

・セイコーマート店内 マルチコピー機(セコマコード：D25122006)[公演7日前まで]



From Bach to Electronic Music, and into the Medium

津村 禮次郎 (能楽師シテ方観世流)

観世流縁泉会代表、重要無形文化財「能楽」保持者(総合認定)。
二松亭舎大学文学部特任教授、1942年福岡県北九州市生まれ。
1963年能「花月」初シテ、翌年一橋大学経済学部卒業、1969年一橋大学社会学部卒業。
1967年4月日蓮宗本山海光山佛現寺において出家得度し、同年8月に身延山信行道場
を修了し僧籍を取得する。1970年観世流師範。1971年能「道成寺」初演。
1991年重要無形文化財「能楽」の保持者に認定(日本能楽会会員としての総合認定)。
古典能の海外公演を精力的に行うほか、西洋音楽作曲家やオペラ歌手との共同制作上演
や、現代演劇やコンテンポラリーダンスとのコラボレーションなど新境地の開拓を行う。

大黒 淳一 (作曲家・サウンドメディアアーティスト)

音楽領域を拡張するサウンドアーティスト、作曲家、プロデューサー。
札幌大谷大学 音楽学科 教授、1974年札幌生まれ。
幼少から作曲を始めて国内の楽曲コンテストで全国グランプリを受賞する。
2006年にベルリンへ渡りヨーロッパ各地でSONYやユニクロなど海外CM・商業音楽
から北京オリンピック、上海万博での音楽プロジェクト。2017年ゲストアーティスト
としてZKM(ドイツ)に滞在、日本初の43.4ch立体音響商業施設「コニカミノルタ
プラネタリウム」の立体音響空間設計及び音楽監督まで幅広い作曲活動を行いながら、
現代美術分野でも札幌国際芸術祭など国内外でサウンドアートの作品発表を行っている。
43d主宰、Ableton認定トレーナー、2021年札幌文化奨励賞。

有馬 圭亮 (作曲家・ピアニスト)

2010年大阪教育大学在学中に局所性のジストニアを発症し
左手のピアノ曲の演奏を始める。2013年、現田茂夫指揮、日本センチュリー交響楽団
M.ラヴェル作曲『左手のためのピアノ協奏曲』の協演を機に演奏活動に復帰。
第17回松方ホール音楽賞奨励賞受賞。
左手演奏の普及、復興を目的とする「左手のアーカイブ」プロジェクトで片手演奏の
ための教材制作や、音楽教室「ワンハンド・ピアノレッスン」での演奏指導や
ワークショップを行う。
2020年音楽文化の普及と国際交流の取り組みを評価され「東久邇宮記念賞」を受賞。

畠中 秀幸 (フルート奏者・建築家)

建築家・音楽家。1994年京都大学工学部建築学科大学院修士課程修了。
2003年建築設計・音楽企画事務所「スタジオ・シンフォニカ」設立。
2009年札幌市都市景観賞を受賞。2009年北海道吹奏楽プロジェクトを設立。
2011年に脳卒中を患い、手や肺などの右半身の機能を失いつつも
建築家・左手のフルーティスト・指揮者として活躍中。
2019年札幌文化芸術劇場 hitaru「Primitive」音楽監督。
2022年7月札幌コンサートホール kitara、2023年2月札幌時計台ホールにて公演。
2023年札幌 G7 環境大臣レセプションにて演奏。
2024年、音楽之友社より「左手のフルーティスト 畠中秀幸」の発刊。

小川 紗綾佳 (作曲家・ピアニスト・打楽器・シンガー)

2008年、武蔵野音楽大学卒業。
作曲家としてCM・番組テーマの制作や楽曲提供を行う。
教育、医療、スポーツ、美術などとも音楽を通じジャンルを超えた表現を行う。
作曲家として自然への憧れと畏敬の念から四季の移り変わりや植物の美しさ、
生命力をモチーフとした表現主義音楽の新たな創造性を追求している。
2020年、ソリアルバム「百徳鍾盤」リリース。
2023年札幌 G7 環境大臣レセプションにて自作曲を演奏。
2025年、自然体験と芸術体験を融合した長沼「じぶん」アート塾【Naja】を設立。

端 聡 (美術家・アートディレクター)

1995年、DAAD(ドイツ学術交流会)の助成によりドイツに滞在。
人と物質や比較神話学をテーマに表現主義的作品を制作。
ブレーメン、ヴェザーブルグ現代美術館(ドイツ)、光州国立博物館(韓国)
上海現代美術館(中国)ほか国内外で多数発表。舞台の芸術監督としても活動し
2005年札幌市主催モエレ沼公園グランドオープンにて舞台「GRAND」の芸術
監督、2007年東京新国立劇場で開催されたバリオオペラ座バレエ団エトワールを招聘
してのコンテンポラリーバレエ「融-YUH07」にて芸術監督。
2004年札幌文化奨励賞 2012年北海道文化奨励賞 2024年札幌芸術賞。

主催・お問い合わせ CAI 現代芸術研究所 /CAI03 no-reply@cai-net.jp

共催 札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)

協力 43d 一般社団法人「結び」 A cubic 【Naja】 札幌大谷大学 芸術学部 音楽学科



札幌文化芸術交流センター
SCARTS

SCARTS企画公募